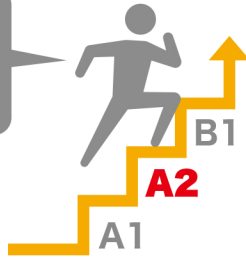


対象レベル

A2下位



A2下位、A2上位の回答例は「Speaking 発表」7ページをご覧ください。

A2下位の特徴

日常生活で頻繁に使われる簡単なやりとりを、非常に短い発話でできますが、会話を続けることは困難です。

A2上位の特徴

身近なトピックについて短い会話をを行うことができますようになります。会話上でよく使われる5W1Hの質問をしたり、そのような質問に適切に答えたりすることができます。

活動の具体例

Fillerを使ってみよう!

Fillerは、会話をスムーズに行うために使われる表現です。質問されてすぐに答えられないときの時間稼ぎや、言ったことを言い直したいときに、以下の表現を生徒が使えるような働きかけをしましょう。

Well...

考えるときに使う

右ページのステップ2で、質問に答えるときに“Well...”と言ってから回答するように指示を出してください。

I mean...

言い直すときに使う

右ページのステップ4で、質問に答えるときに“I mean...”と言ったあと言い直すように指示を出してください。

A2下位 → A2上位を目指すための指導案

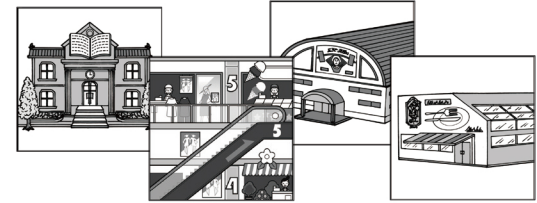
目標 身近なトピックについて短い会話を行うことができる



目安時間
15分

準備物 ピクチャーカード

場面設定に使う。生徒にとって身近な場面のものを選ぶ。



ステップ
1
(全体)

- 5W1H“when”“where”“who”“what”“why”“how”を板書する。
- ピクチャーカードを1つ提示し、教師がそれに関連する英文を話す。

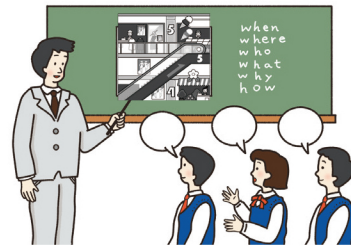


例:I am going to go to a shopping mall.

- 教師が話した英文に対して、黒板に書いた疑問詞を使って生徒に質問させる。出てきた質問は板書する。



生徒が発話した質問文に文法などの誤りがあるときは、正しく修正した英文を書く。

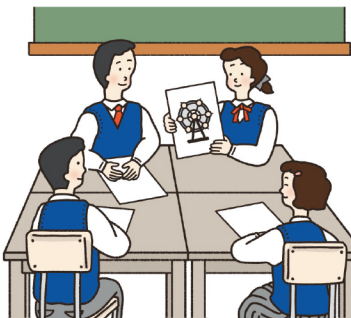


ステップ
2
(グループ)

- 新しいピクチャーカードを黒板に貼る。
- ステップ1で使ったピクチャーカードと似たような質問ができるものを選ぶ。
- 生徒を4人のグループに分け、1人1つピクチャーカードを選ぶ。
- 生徒は1人ずつ順番に、自分が持っているカードをグループ内のメンバーに見せる。教師の英文を参考に“I am going to go to ~.”と話す。



できる範囲でよいので、1つのカードに対して5W1Hすべてを使うように指示する。



ステップ
3
(全体)

- 新しいピクチャーカードを使って、ステップ1と同じ流れを、今度は過去形を使って行う。
- ※黒板に、5W1Hの代わりに、“Last weekend”と書き、“I went to a shopping mall last weekend.”など話す。

ステップ
4
(グループ)

- ステップ2と同じ流れを、過去形を使って行う。



POINT

教師の関わり方:英語の発話に慣れることが目標であるため、生徒の文法の誤りを都度訂正する必要はありません。ステップ1で板書された正しいものを見る、ステップ2で他の生徒の発話を聞くなどを通して、自発的な誤り修正を促してください。